

滋賀県立大学の 学びの体系

学生一人ひとりが興味関心に合わせた学びを追求できます。
地域や社会との関わりの中で生きるための「知」と「実践力」が養われます。

自ら求め、成長する学び

滋賀県立大学には幅広い視野を養う教養・基礎の学びや多彩な分野からなる専門の学び、実際に現場に入り生きた課題と向き合う地域や世界での学びなど、学びのフィールドがキャンパスから地域、世界へと広がっています。大学生活を通してさまざまな学びと出会い、実践し、将来への可能性を広げてください。

変化し続ける社会で変わらず必要な
「論理的な思考力」と「学び続ける力」を育む

滋賀県立大学は「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」をモットーに、「地域に根差し、地域に学び、地域に貢献する」人が育つ大学として、これまでに多くの卒業生を輩出してきました。琵琶湖を有する滋賀の豊かな自然や歴史、文化に恵まれた環境は、知的好奇心を刺激してくれます。変化の激しい時代を生きるには、生涯を通して「論理的な思考力」と「学び続ける力」が必要です。本学の多様な学びを通して、感性を磨き、知と実践力を鍛えて、「論理的な思考力」と「学び続ける力」を育み、持続可能な社会づくりの担い手となってください。



滋賀県立大学 理事長・学長
原 龍嗣

大学での学び

自主的に学ぶ力を養いながら、多彩な学部・学科の個性豊かな講義を通じて、専門的な分野について学びます。



教養・基礎の学び

幅広い視野を養うために、主専攻の分野に限らず多様な教養を身につけます。

- 人間学 ● 全学共通基礎科目
- 地域基礎科目

▶ P.09 Act.01



専門の学び

各学部の目的に沿った個性的な教育を実現するために、1年次から専門科目の講義を受講できます。

▶ P.21



実験・実習 フィールドワーク



▶ P.11 Act.02



地域教育 プログラムについて

目まぐるしく変わり続ける時代を生き抜き、地域社会に貢献していくための能力を養うために、主専攻・副専攻・全学共通科目にまたがって構成される、本学独自のプログラムです。

▶ P.13 Act.03

世界での学び/ 未来への学び

大学で身につけた力は、卒業後のキャリアにつながっています。地域から世界を見る目、世界から地域を俯瞰する目を養います。



海外留学・海外研修

国際性を磨くには、実際に海外に出かけ、そこで生活し、あるいは学んで、文化の違いを肌で実感することが最も効果的です。

▶ P.15 Act.04



キャリアサポート

学生の個性や希望にそった就職の実現を目指し、各学科・専攻の就職指導担当教員と事務局の学生・就職支援課が連携をとりながら、就職情報の提供や各種相談に応じています。

▶ P.17 Act.05



e-PICT(大学院)

地域で活躍する人材の育成を目的とした大学院副専攻ICT実践学座。現場で使えるICT(情報通信技術)の基礎とスキルを身につけます。



近江楽士

地域から学び、主体的に考え、行動し、課題を解決するために必要な「ネットワーク力」、「起業力」を養います。

▶ P.13 Act.03



近江環人 地域再生学座

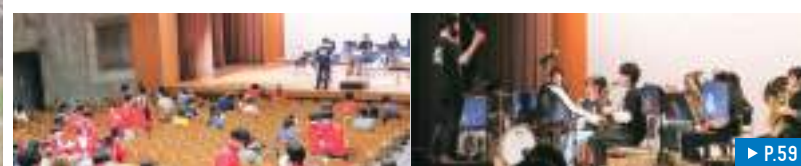
大学院生・行政・企業・NPOなど、それぞれの立場で地域再生のリーダーとなる資質を養います。

▶ P.13 Act.03



クラブ・ サークル

体育系、文化系の多種多様な活動や他大学・地域とのさまざまな交流が行われています。正課である学業とともに「人間形成の場」として重要な意義を持っています。



▶ P.59



近江楽座

地域活性化に向けて、地域課題の解決に学生が主体的に取り組み、全学的に支援する教育プログラム。学生らしさを生かして地域に学び、育ち、貢献できる場です。

▶ Book in Book

主専攻・
全学共通基礎科目

副専攻

自主活動

Act. 01 ▶▶ 他者と関わり養われた「心」で見る、世界の奥深さ 教養・基礎の学び(全学共通科目)

自ら出会い、自ら学ぶ。

「人が育つ大学」

人は自ら調べ、考え、行動するなかで学びを得て成長していきます。

みなさんの好奇心を刺激し、学び取る能力の向上を目指して、幅広い分野に触れる機会の提供と、
学ぶための基礎的な能力を養う授業を全学共通科目で実施しています。

人間学

人間と社会を深く見つめ、現実的な問題を通して「人間」という存在を考える中で、主体的に学ぶ力を育てます。
必修科目の人間探求学と、「生きる」「考える」「つくる」の3つの科目群からなる多彩な選択必修科目から構成されています。

人間探求学【必修科目】

大学で学ぶということは、自ら課題を見つけ、そこから新たな考えやモノを創造することです。そのため、自らの考えをわかりやすく伝え、他者の考えをじっくり理解し、共感し、批判し合う能力が必要となります。これらの能力を1年次前期のうちから身につけていきます。

POINT 学びの基礎を養う少人数教育

各学科で5・6名のグループに分かれてテーマについて学びます。大学で学ぶための基礎的な能力を養い、教育の原点である人間と人間がふれあう機会の提供をねらいとしています。



科目群【選択必修科目】

生きる

科目群「生きる」では、私たちが動物の一種であるヒトとして、また、複雑な社会の中で暮らしていく人間として、健康で幸福に生きていくための知恵を学びます。

講義一例

- 自然のしくみB
～自然災害から生きのびるために～
- 食と健康
～食を通じた健康との関わり～
- 生命・人間・倫理
～人間の尊厳と権利～

考える

科目群「考える」では、空間(環境、地域性など)、時間(歴史、成長など)、構造(自然、人工物など)のような、ものごとを考えるための多様な視点を学びます。

講義一例

- 都市・建築を考える
～川の未来学～
- 人間関係の科学B
～コミュニケーションを考える～
- 異文化理解A
～アメリカの異文化理解～

つくる

科目群「つくる」では、人間と他の生き物の大きな違いである生産活動と創造活動に着目し、衣食住や道具類など、さまざまな「モノ」と人間の関係を学びます。

講義一例

- 農業と環境B
～微生物と生活～
- 電子社会と人間
～高度情報化社会の成り立ちと私たちの生活～
- 比較住居論
～住まいが果たえる世界のくらし～

全学共通基礎科目

英語と第二外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語)からなる外国語教育、情報処理教育、保健体育教育の3つの分野で構成しています。



外国語

将来につながる実践的な語学力、異文化と対話する姿勢を学びます。



情報処理

パソコン操作や情報セキュリティなどの情報倫理について学びます。



保健体育

サッカー、バレーボール、フィットネスプログラムなど、多様なスポーツの中から種目を選択できます。

地域基礎科目

地域教育プログラムについて詳しくはP.13

地域課題に応える「未来志向の変革力を身につけた人材」を育成するための地域教育プログラムの基礎となる科目です。世界共通の目標でもあるSDGsの視点も踏まえつつ、地域での実践を通して現実起こっている諸問題に創造的に取り組み、変革する能力と態度を養います。



地域共生論でのディスカッション



滋賀県知事による講義

Act. 02 ▶▶ 学びと経験をつなぐ、価値ある「一歩」 専門の学び（実験・実習 フィールドワーク）

全学部において、地域や社会とのつながりの中で学ぶカリキュラムを豊富に展開。
講義で学んだ知識を自らの経験として蓄え、実践的な力に変えていきます。

環境科学部 環境フィールドワーク

実際に地域環境問題が起きているフィールドに足を運び、調査・解析とプレゼンテーションに必要な能力を身につけます。

- 環境フィールドワーク
- 環境学野外実習
- 環境生態学特別実習
- 集水域環境学・同実験
- 水域環境学・同実験
- 社会調査実習
- 環境マネジメント演習
- アジア・フィールド実習
- 環境政策デザイン論・演習
- 地域産学連携実習
- 木匠塾
- 生物資源管理学実験・実習
- 環境生物学実験

など



人間文化学部 環琵琶湖文化論実習

1年次を対象とした、滋賀の歴史や文化、生活を学ぶ実習で、テーマ別に班を編成し、調査から報告書の作成手法までを学びます。

- 環琵琶湖文化論実習
- 考古学実習
- 古文書演習
- 地域社会調査実習
- 地理学実習
- 人間工学実習
- 生活デザイン学外演習
- 栄養教育論実習
- 給食衛生管理実習
- 臨床栄養臨地実習
- 教育観察実習
- 心理・発達・行動学実験演習
- 基礎演習
- 発展演習
- 研究演習

など



- 材料科学実験
- 定量・機器分析および同実験
- 物理学実験
- 分析・環境化学実験
- 卒業研究
- 機械システム工学セミナー
- 機械製作実習
- 機械工学基礎実験
- 機械システム創造実験
- 電子システム工学セミナー
- 電子システム工学実験
- 電気電子設計製図

など



技術者としての基本的技能を体験的に学びます。例えば、身近な工業製品の分解と再組立てを通じて、ものづくりの基本を学びます。

工学部 実験・実習

人間看護学部 臨地実習

医療・保健・福祉の現場での実習を通して看護援助の基礎的な実践能力を身につけ、人との出会いやふれあいを通して豊かな人間性を育みます。

- 地域生活実習I・II
- 基礎看護学実習I・II
- 在宅療養移行支援実習
- 健康危機回復支援実習
- 緩和ケア実習
- 小児看護学実習
- 母性看護学実習
- 精神看護学実習
- 在宅看護学実習
- 人間看護学統合実習I・II
- 公衆衛生看護学実習（保健師課程）

など



基礎看護学実習II（コロナ禍のため学内での実習風景）

2022年4月より一部の科目が変更されました。

Act. 03 ▶▶ 社会の課題を「肌」で感じ、養う変革力

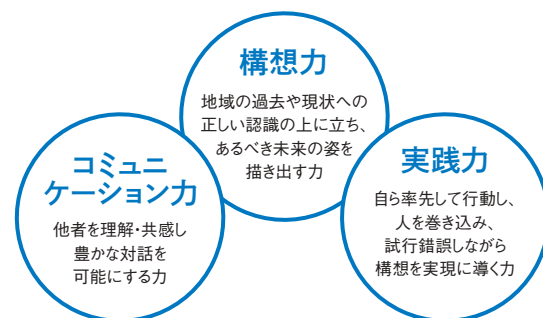
地域での学び（地域教育プログラム）



身につけるのは、 「変革力」

地域や社会の課題に対して、既存概念や常識を打ち破り、新たな価値を創造し未来を開く力「変革力」。「コミュニケーション力」、「構想力」、「実践力」の3つの「力」を鍛えて養います。

地域教育で身につける 3つの力と変革力



— 地域や社会の抱える課題に取り組み、未来を拓く力 —

TEACHER'S VOICE

社会で生きる力を育てる 地域教育プログラム

これからの時代に生きる若い世代には、これまでの仕組みの延長線上に自らの能力を磨くだけでなく、変化する時代を生き抜き、持続可能な社会の創造を担う能力と資質を養うことが求められています。地域教育プログラムの受講を通じて、この課題に応える「未来志向の変革力」を身につけましょう。

地域共生センター
教授 鶴飼 修



▶▶ 地域との学びのSTEP 滋賀県立大学オリジナルの地域とともに学び合う学びのステップで「変革力」を鍛えます。



▶▶ 地域との学びを深める副専攻課程

近江楽士(地域学)副専攻

ソーシャル・アントレプレナーコースについて詳しくはP.18

近江楽士(地域学)副専攻は、専門領域を超えて、さらに自身の能力を高めたい未来志向の学生を対象に、全学部全学科生が受講可能な副専攻課程で、これから社会で求められる「ネットワーク力」や「起業力」を身につけます。近江楽士(地域学)副専攻を修了し、所属学部の卒業要件を満たすことで「近江楽士(コミュニティ・ネットワーク)」と「近江楽士(ソーシャル・アントレプレナー)」の称号が付与されます。この称号は、企業等へのインターンシップ活動や就職活動に活用できます。



近江環人地域再生学座 (大学院生・社会人対象)

近江楽士(地域学)副専攻の上位カリキュラム。大学院生・行政・企業・NPOなど、それぞれの立場で地域再生のリーダーとなる資質を有した人材の育成を目指しています。



MESSAGE

さまざまな出会いや学びを通じて得た力が
将来の夢を実現するための糧となります

近江楽士では、地域で活動する個人や団体から、実社会に必要なノウハウを幅広く学びます。地域で学ぶ魅力は、子どもからお年寄りまでさまざまな人々に出会えること。多様な価値観に触れるなかで、大学の中だけでは得られない気づきや学びがあります。講義では、地域の公民館の一角をお借りして喫茶店を運営しました。チームでアイデアを出し合っ、地域の課題解決に取り組むことで、コミュニケーション力や実践力を養うことができました。将来は、講義で得た力を活かして、地域の人々の憩いの場となるような喫茶店を開きたいです。

人間文化学部 地域文化学科
2021年度卒業
大原 悠人さん



近江楽士
履修しました

Act. 04 ▶▶ 世界での学び

しなやかな「翼」が叶える世界への跳躍

琵琶湖というキャンパスで学んだ地域や社会への貢献をグローバルな地域でも実践できる人の育成を目指し、世界の大学とさまざまな交流プログラムを行っています。

CHECK MORE!
詳しい情報や留学生体験記は
公式サイトをチェック!



STUDENT'S VOICE

アメリカでバンド演奏をする夢が叶い 諦めず行動し続ける大切さを実感しました

父の影響で幼い頃からアメリカの音楽を聴いて育ち、自然とアメリカの文化に興味を持つように。大学在学中に留学したいと考え、留学制度が充実している滋賀県立大学を選びました。制度を活用すれば4年で卒業することもでき、私のように教職課程のため5年在学する場合も授業料減免制度を利用できます。大学からのサポートも手厚く、安心して留学に臨むことができました。留学先に選んだのはテキサス州。デルタ・ブルース(ブルース音楽)発祥の地であるアメリカ南部に関心があり、現地でバンド演奏をしてみたいという夢を抱いて旅立ちました。ライブハウスなど一軒もないような田舎町でしたが、演奏できる場所を探して歩き回り、ついに教会のバンドでギターを担当できることに。ステージに立てたときには、諦めずに行動し続けて良かったと感慨もひとしおでした。帰国後も音楽活動をしているが、いずれまたアメリカでも演奏したいと考えています。これからも音楽を通して国際交流を続けていきたいです。



人間文化学部 国際コミュニケーション学科 4回生
鍵田 圭都さん

長期留学

▶ 交換留学

大学同士の交流協定に基づいて、相互に学生を派遣・受入する制度です。期間は基本的に5か月から1年間で、学内での選考により派遣学生が決定されます。派遣先の授業料の納付が不要で、本学からの助成金あるいは授業料減免制度の対象です。

▶ 派遣留学

国際コミュニケーション学科独自の制度で、欧米圏の派遣留学協定締結校へ3か月から1年間留学するものです。交換留学と異なり、留学先大学での授業料を支払う必要があります。本学からの助成金あるいは授業料減免制度の対象です。

▶ 認定留学

提携大学以外(協定を結んでいない大学)で、提携大学への留学と同等以上の効果が期待できると学長が認定した大学等(認定大学)への留学です。留学先で得た単位が本学での審議により認められることが可能ですが、出願、入学手続きは自分で行い、費用もすべて自分で支払います。本学からの助成金あるいは授業料減免制度の対象です。

【留学のポイント】

- 1 留学制度を活用することで4年での卒業も可能
- 2 留学先で取得した単位の認定・読替が可能
- 3 留学助成金やJASSO奨学金の申請が可能

短期留学

▶ 短期海外研修

夏期や春期の長期休業期間中を利用した約1か月の留学です。具体的な留学先は決まっておらず、自分で海外の大学で実施している3週間程度のプログラムを探し、留学します。

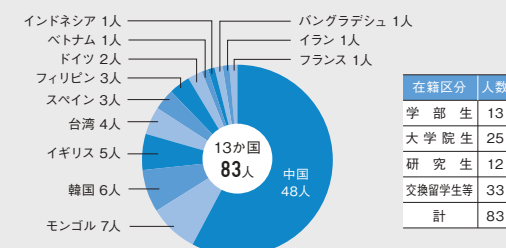
▶ 人間学「異文化理解」

人間学について詳しくはP.10

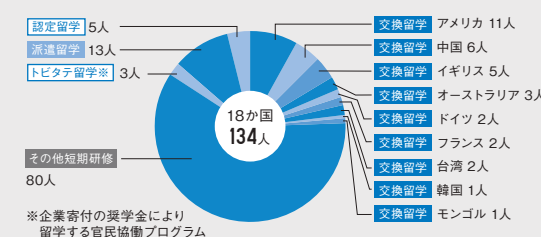
本学の特色である「人間学」科目のひとつで、長期休業を利用した3週間の海外研修です。アメリカでの「異文化理解A」とアジア・オセアニアでの「異文化理解B」があります。

留学生数

海外から滋賀県立大学へ(2020年1月時点)



滋賀県立大学から海外へ(2020年1月時点)



TEACHER'S VOICE

あなたは海外では「日本代表」

海外留学は、実際に現地で生活して、そこでさまざまな人々に出会い、日常を経験することに意味があります。海外では、一人の日本人ではなく、日本代表になってしまいます。日本の歴史や政治情勢などさまざまなことを聞かれ意見を求められます。海外留学に際しては、語学力のみならず、日頃から日本のことをしっかり勉強して準備しておくことが大切です。本学では、コロナ禍で海外留学する場合、外務省の感染症危険情報レベルが「2」以下となっている国や地域に限り留学を許可しています。その場合でも、教員が一体となったリスク管理体制を整えていますので、安心して留学を目指してください。

教育・学生支援担当理事/副学長 山根 浩二



Act. 05 未来への学び

夢をつかむその「手」に力を

卒業生 INTERVIEW

就職活動について
語っていただきました。

大学主催のインターンシップへの参加を通じて 理想の企業と出会うことができました

中学生の頃から憧れていた鉄鋼業や自動車産業で、技術者として社会を支える一員になりたいと、ものづくりに携わる仕事を志望していました。なりたい職業が明確だったこともあり、早期から取り組み始めた就職活動ですが、企業選びに戸惑うことも。そこで活用したのが、大学と連携している企業のインターンシップです。オンラインでの会社説明会が多いなか、実際に企業を訪問できるため、会社の雰囲気を肌で感じることができました。就職先の企業に出会ったのも、このインターンシップの参加がきっかけです。企業選びで大切にしていたことは、会社の社風。学科の学びを通じて、チームでものづくりに挑戦するやりがいを実感した経験から、就職先としても、熱意ある仲間と切磋琢磨できる環境を重視していました。また、希望の企業に進むため、履歴書の添削や一対一の面接練習など、キャリアサポートを積極的に活用。面接は初めてだったため不安でしたが、丁寧かつ、忸度なしに指導してもらったことで、緊張せず話せるようになり、自信を持って本番に臨むことができました。

入社後は、大学での学びを生かし、新しい部品・製品の開発に携わりたいです。技術者として企業や社会に貢献できるよう邁進していきます。

株式会社ゴーシュ

北村 賢治さん 工学部 機械システム工学科 2021年度卒業

主なキャリアサポート

1年次から4年次まで体系的なプログラムを実施。一人ひとりに応じたきめ細かなキャリアサポートに取り組んでいます。

	キャリア教育	就職セミナー	学生支援室	就職スケジュール
1・2年次	●キャリア形成への道A(2単位)【4月～8月】 ●キャリア形成への道B(2単位)【4月～8月】 ●地域産業・企業から学ぶ社長講義(2単位)【10月～3月】 ●キャリア形成への道C(2単位)【10月～3月】			
3年次	<2・3年次> ●インターンシップガイダンス【4月】 ●インターンシップ事前研修I-II【7月】 ●インターンシップ(就業体験)【8月～9月】 ●インターンシップ報告会【10月】	●就活準備スタートセミナー【5月】 ●自由応募型インターンシップセミナー【5月】 ●自己分析講座【5月】 ●筆記試験対策【6月】 ●業界研究セミナー【6月】 ●しが就活セミナー【6月】 ●就職活動本番準備セミナー【10月】 ●秋冬のインターンシップの選び方【10月】 ●ES対策セミナー【10月】 ●面接対策セミナー【11月】 ●GD対策セミナー【11月】 ●ビジネスマナー講座【11月】 ●外国人留学生向けガイダンス ●留学経験者向けガイダンス ●学内業界研究会	●公務員試験対策講座ガイダンス【4月】 ●公務員試験対策講座【5月～3月】 ●就職・進路相談【随時】 ●模擬面接【随時】 ●公務員採用試験説明会【採用スケジュールに応じて実施】	
就職活動本格化				
				●就職ナビ情報提供開始【3月】 ●合同企業説明会・個別企業説明会への参加【3月】 ●エントリーシート作成・提出【3月】 ●SPI等テスト受検(テストセンター・WEB)【3月】
4年次			●公務員試験願書提出【4月】 ●国家公務員総合職採用試験【4月】 ●国家公務員一般職採用試験【6月】	●地方公務員上級採用試験【6月】 ●企業の選考開始【6月】 ●正式内定日【10月】

●キャリア教育(1～4年次対象)

キャリアデザインの描き方や地元企業の社長による講演など、早期から自分のキャリア(仕事や日常生活)を考えることで、将来に向けて充実した学生生活を送ることができます。

キャリア形成への道A (考えるための道具)

多くの指定本から選んだ本の読書ノート作成や社会問題に関する議論とレポート作成を通して、広い視野で論理的に考える力を養います。

キャリア形成への道C (キャリアデザイン特講)

ビジネス社会で必要な「思考力」「発想力」「表現力」、そして「コミュニケーション力」を実践的に身につけるため、毎回テーマの違うアクティブラーニング型授業を行います。

キャリア形成への道B (キャリアデザイン)

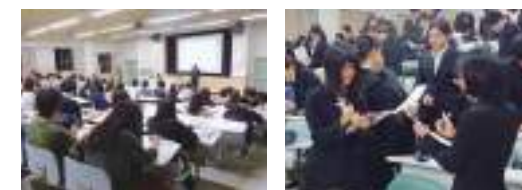
自己分析の実施や今後のさまざまな社会の変化について学びます。自分のキャリアについて考え、それを実現するために必要なことを考える力を養います。

地域産業・企業から学ぶ 社長講義

地元経済界の最前線で活躍されている企業の社長によるリレー講義。学生に期待される社会での能力や人物像について、さまざまな角度から語っていただきます。

●就職セミナー(3年次・院1年次対象)

プロのキャリアコンサルタントによる、年間十数回のセミナーを通して、最新の就職活動の流れや注意点、企業が求める人材像を学びます。合同企業説明会や県内病院説明会なども実施します。



●学生支援室(キャリアデザイン室)

専門の職員が常駐し、学生の進路や就職活動の相談に応じています。大学に送付された求人票や会社案内、卒業生の就活報告書の閲覧や、就職活動に必要な多くの本の閲覧・貸出をしています。

就職率

(2021年度実績)

全 体

98.8%

環境科学部 99.1%

環境生態学科 94.7%
環境政策・計画学科 100.0%
環境建築デザイン学科 100.0%
生物資源管理学科 100.0%

工学部 98.5%

材料科学科 100.0%
機械システム工学科 100.0%
電子システム工学科 95.7%

人間文化学部 98.1%

地域文化学科 98.0%
生活デザイン学科 96.0%
生活栄養学科 100.0%
人間関係学科 96.2%
国際コミュニケーション学科 100.0%

人間看護学部 100.0%

人間看護学科 100.0%

ビジネスの観点を持って地域で活躍する人を育てる

近江楽士(地域学)副専攻 「ソーシャル・アントレプレナーコース」

ビジネスの発想と手法によって地域課題を解決に導く起業家的人材や、起業家精神をもって地元企業等でリーダーシップを発揮する人材を育成する副専攻課程です。

近江楽士(地域学)副専攻について詳しくはP.14

MESSAGE

少しでも興味を持った。それが進路選びのきっかけです。

会社の事業内容は多種多様です。社長さんの話を聞き、考え方に共感することが進路を決める一歩になるかもしれません。進路というと難しく考えてしまいがちですが、皆さんが進むべき方向を考えるための新しいものの見方を得る良い機会となるでしょう。

安全索道株式会社 営業部

奥手 大気さん 環境科学部 環境政策・計画学科 2019年度卒業

